

事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連公共施設（消防に関する施設：小型動力ポンプ）整備事業						
補助事業者名	吉野ヶ里町長						
実施場所	吉野ヶ里町内						
補助事業の成果の目標	本町、各地区の消防団(全9分団23部)では迅速な消火活動により町民の生命、財産を守るべく日々消防訓練に励んでいる。町内で火災が発生した際には素早い初期消火が必要であり、小型動力ポンプは必要不可欠である。そのため経年劣化の激しい20年以上経過する消防ポンプについては随時、更新していくことで消防設備の維持を図っているところである。本町の消防車(消防ポンプ)は現在22台(充足率100%)あり、今後も迅速な消火を行うため本年度に3台の更新を行い、台数(充足率)の維持を図ることを目標とする。						
補助事業の内容	小型動力ポンプ購入(3台)						
補助事業の始期及び終期	平成28年度						
事業費及び交付金額		28年度					計
	事業費	円 6,295,320	円	円	円	円	円 6,295,320
	交付金額	4,500,000					4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	消防車の定期点検においてポンプの操作説明及び訓練等を行ったところ、新しいポンプ導入後の訓練後には団員よりポンプ等の操作性が格段に向上したという声があった。また、導入した新ポンプについては町の広報誌への記事掲載及び、ポンプ外面への「特定防衛施設周辺整備交付金事業」の記載による周知を行い、防衛施設に対する住民の理解を求めている。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連特定事業 (医療に関する事業：子どもの医療費の助成事業基金)							
補助事業者名	吉野ヶ里町長							
実施場所	吉野ヶ里町							
補助事業の成果の目標	吉野ヶ里町子どもの医療費の助成制度は、子どもの医療費の一部を助成することにより、その疾病の早期発見及び治療を促進し、もって子どもの保健の向上及び福祉の向上のため創設された。 このため、吉野ヶ里町子どもの医療費の助成基金を設置し、保護者負担への助成金に充て、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。							
補助事業の内容	小学生から中学生までの子どもに係る医療費の一部を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成24年度～平成33年度							
事業費及び交付金額			24年度まで	25年度	26年度	27年度	28年度	計
	基金造成額	交付金額	円	円	円	円	円	円
		市町村費等	22,000,000	14,728,000	21,283,000	0	18,200,000	76,211,000
		運用益	1,000,000	1,000,000	0	5,200,000	1,000,000	8,200,000
		計	3,147	11,035	17,145	37,233	23,911	92,471
	基金処分類	8,128,321	13,044,892	12,557,414	14,826,743	14,224,173	62,781,543	
	基金残額	14,874,826	17,568,969	26,311,700	16,722,190	21,721,928	21,721,928	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	助成受給世帯にアンケートを実施したところ、「医療費の負担が減り助かっている。事業を継続してほしい」等の意見が寄せられた。また、平成28年度の申請件数及び実際の助成件数は8,427件となっており、子育て世帯の負担を軽減することによる子育て支援に寄与している。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施している旨の地域住民への周知については、町ホームページへの掲載、転入手続き時のアナウンス及びチラシ配布を行った。							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	目達原飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：家庭教育支援員設置事業基金）								
補助事業者名	吉野ヶ里町長								
実施場所	吉野ヶ里町内								
補助事業の成果の目標	地域における育児相談や子育て中の保護者のコミュニケーションを円滑にし、家庭教育の充実及び向上を図る。								
補助事業の内容	家庭教育支援員の雇用								
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成28年度								
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	計	
	基金造成額	交付金額	円 12,870,000	円 0	円 0	円 0	円 0	円 0	円 12,870,000
		市町村費等	0	600,000	600,000	600,000	0	266,551	2,066,551
		運用益	0	1,841	7,571	7,894	8,355	4,168	29,829
		計	12,870,000	601,841	607,571	607,894	8,355	270,719	14,966,380
	基金処分類	0	3,194,000	2,907,500	2,697,600	2,985,600	3,181,680	14,966,380	
	基金残額	12,870,000	10,277,841	7,977,912	5,888,206	2,910,961	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>補助事業期間中、家庭教育支援員を設置することで子育てや家庭教育に関する相談対応及び情報提供等の支援を行った。アンケート調査の結果、全52名の回答者から役立っているとの評価を得られ、家庭教育の充実及び向上を図ることができた。</p> <p>特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で実施されている旨を、町HPや公立幼稚園・保育園の家庭向け配布物に掲載し、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。